

命を大切にする豊かな心の育成 ひと・こと・ものとの積極的な関わり

— 豊根村立杉の子保育園・豊根小学校 —

1 実践のねらい

- 保育園児と小学生の交流を通じて、自分の存在・価値に気づかせる。
- 野菜作りや花の栽培、山菜採りをすることで、野菜や花の成長に興味・関心を持ち、収穫・開花の喜びを知る。
- 命の大切さを実感する人形劇を鑑賞する中で、豊かな心を育む。
- 地域の人から、地域のこと・ものを学ぶ。

2 実践の内容

(1) 実践にあたって

- 「杉の子保育園」と「豊根小学校」は、隣接しており、登下校のバスも地区が同じならば一緒のバスを利用したり、保育園の時に一緒に生活していたりほとんどの子どもが名前を知っているという関係である。

また、小学校の運動会に、保育園の園児・保護者が出演してくれたりとその関係はとても強い。避難訓練も保育園・小学校・中学校が同時に放送できる「緊急通信放送システム」を利用して実施している。

今回の「命を大切にする心を育む教育推進事業」においても上記の利点を活用し、共同実施した。

(2) 命の大切さを実感する人形劇の鑑賞



人形劇の鑑賞

- 8月21日（木）に杉の子保育園のリズム室において、『人形劇団パン』による、「おぼけサーカス」と「おおきなかぶ」を鑑賞した。

期日が、小学校の夏休み中だったこともあり、園児と保護者だけでなく、小学生も全校児童の半数以上にあたる30人ほどが鑑賞した。アコーディオンの生演奏と人形劇団パンならではの新しい手法を使った楽しいゆかいな人形劇を楽しむとともに、人の助け合いややさしさ、命の尊さを学ぶことができた。

(3) お年寄り世帯への花のプレゼント

- 豊根小学校は古くから花作りが盛んで、現在は、豊根中学校と一緒に花の栽培を行っている。この活動のねらいとしては、小中学生が、花作りや環境美化を協力して作業することで、勤労の尊さを体験したり、自分たちの住んでいるところを美しい地区にしようという気持ちを持つことをねらいとしている。



小中合同でのポット植えの様子

数年前からは、自分たちが育てた花をプランターに植えて、お年寄り世帯に届ける活動を行っている。

今年度は、7月と12月の2回、プランターによる花のプレゼントを行ない、お年寄りから喜びの声をかけていただいた。

(4) 豊川養護学校との交流

豊根小学校と豊川養護学校との交流は10年ほどの歴史がある。この行事は、障害のある子どもの理解を深めるとともに、共に学び成長しようとする態度を育てることを目的に実施している行事である。

今年度も10月3日（金）に豊川養護学校を訪問し、交流会を持った。



豊川養護学校体育館での太鼓演奏

3 おわりに

- 今後も命を大切にする豊かな心を育成するため、各校の実践だけでなく、保育園・小学校・中学校が隣接している長所を生かして実践をしていきたい。

4 参考 ・人形劇講師：人形劇団「パン」

つながるいのち かがやくわたし

— 小坂井町立小坂井西小学校 —

1 実践のねらい

- 1年生から6年生まで、学級活動や道徳等の時間に系統的に位置付けた「大切ないのち」の学習を通して、自他のいのち、受け継がれつながっていくすべてのいのちの尊さに気づき、未来に向かって希望をもって生きていこうとする心を育てる。
- あおい学習（総合的な学習の時間）を核にして教科横断的なカリキュラムの中で環境教育を実践している。その中で、生き物や植物を大切に育てる学習をし、成長の営みを知り、「いのち」がどのように受け継がれていくかを自覚させる。また、自然体験や環境学習を通して、人が生きていくために自然との共生が必要であることに気付かせ、共に生きていく自然環境を大切にしていこうという気持ちを育てる。
- 25分間の業間の時間「わんぱくタイム」や、学期1回の学校公開日「学校へおいDAY」に実施される全校集会「すこやかサミット」で、学校保健委員会と児童会活動が中心となって企画・運営する場をもつ。ここでは、自分の心と体の健康について考え、自分の生活を見つめ直し、よりよくしていこうという意欲を高める。

2 実践の内容

(1) 「いのち」の学習〈生活・保健・学活・道徳〉(1～6年)

- 「いのち、ありがとう 2分の1成人式」(4年：総合+保健+学級活動 10時間)
 - ・自分の誕生から10年の歩みを、学級の友達や家族とともに振り返り、成長記録を作る。この活動の中で、実際に赤ちゃんの人形を抱く機会を設け、自分の幼いいのちが大切にはぐくまれてきたことを、子ども達は実感することになった。
 - ・4年生になると10歳になった記念に、「2分の1成人式」を保護者の協力も得ながら、子ども達とともに企画し発表する。式の中で今まで支えてきてくれた周りの人々の存在の大きさに感謝したり、これからも夢に向かって頑張っ生きていこうとしたりする発表が数多くされた。



【大事に育ててもらったんだね】

(2) 自然のいのち・私たちのいのち〈生活・総合・道徳・関連教科〉(1～6年)

- いのちを見つめよう、いのちをありがとう(1学年：生活 11時間)
 - ・アサガオや野菜の発芽から結実に至る過程を観察しながら、熱心に栽培活動を行っている。子ども達は、小さな種からはぐくみ結実していのちをつなげていく植物の神秘にふれることができた。また、毎日愛情をもって世話をしていくことの大切さや、生長する植物から多くの喜びや、自分たちのいのちの糧としてそのいのちを得ていることに気づき、感謝の気持ちをもつことができた。子ども達の手によって収穫されたアサガオの種は、来年の1年生に大切に受け継がれていく。

○ 「つながっている森と水と私たちの命」(5年：総合+理科+国語 40時間)

- ・国語「森林のおくりもの」をきっかけとし、子ども達は、森林のはたらきや効果について調べた。そして、人間の手で豊かな森林を守っていくことが自分たちの身近な生活にとって大切なことだと知った。
- ・地域や校庭の木の名前や特色について関心を持ち、調べ学習を始めた。四季の移り変わりとともに様々な変化を見せ、何年も息づいている木々に子ども達は強い生命力を感じ、愛着を抱くようになった。
- ・理科や国語なども含め学習していく中で、子ども達は森林が川や海や大地とつながり、私たちの生活を支えていることに気付き、自然のいのちとともに自分のいのちも受け継がれていることを知った。



【木のいのちの音を聞こう】

(3) 全校で取り組む元気なからだづくり〈業間・特別活動〉(1～6年)

○ 小西すこやかサミット「夢をかなえる健康づくり」(各学期2時間)

- ・学校保健委員会、児童会活動を中心に、学期に1回ずつ、児童を対象とした「すこやかサミット」を開催している。講師を招いて話を聞くなどして、心と体の健康について学習している。2学期は、あいち健康プラザから講師を招き、実際に体を動かしながら自分のからだの状態をチェックし、からだのしくみや健康づくりの大切さ、規則正しい生活習慣のあり方を教えていただいた。子ども達は、楽しみながら体を動かすことの大切さを実感した。

○ わんぱくタイムで元気いっぱい(25分放課)

- ・各学期、3週間ほどの期間、2・3限の業間放課をつかって、全校で運動を行っている。1学期はドッジボール大会、2学期はかけ足チャレンジ、3学期は、縄とびチャレンジを異学年ペアで励まし合いながら行っている。冬でも放課には、手作りのジャンプ台で練習する元気な子どもの姿で運動場はにぎやかである。



【ペアと縄とびチャレンジ】

3 おわりに

お母さんからわたしが赤ちゃんだったころ、夜なきをして一ばん中だっこしていたことを聞きました。大切に育ててくれたんだなと思いました。

(4年女子)

森林が自然災害から私たちを守り、地球温暖化防止にも大きな役割を果たしていることがわかりました。森林を私たちは大切にしなければいけないと思いました。

(5年女子)

6年生のおにいさんに、なわとびのとびかたをおしえてもらったよ。きのうより3かいもおおくとべたよ。おにいさんもいっしょになってよろこんでくれたよ。

(1年男子)

子どもたちの振り返りのプリントから、「いのち」「ともに生きる」ことの大切さを感じとったり、学びとったりしたことが認められた。今後、さらに工夫を加え、子どもたちの興味関心を高めたい。

